

佐倉フィルハーモニー管弦楽団

第56回定期演奏会

2012年6月24日(日) 14:00 開演

会場：佐倉市民音楽ホール(京成臼井駅南口徒歩4分)

指揮：福田 夏絵

曲目：コーブランド／市民のためのファンファーレ
オッフェンバック／喜歌劇「天国と地獄」序曲
ハイドン／交響曲第104番ニ長調「ロンドン」
ドヴォルザーク／交響曲第8番ト長調



福田 夏絵 (指揮)

1996年、チェロ奏者としてアジアユースオーケストラに選抜され、コンサートツアーに参加。
2001～2005年、洗足学園音楽大学にて指揮を学ぶ。
現在、各地のオーケストラにて指揮活動をするかたわら、各オペラ団体にて副指揮者・合唱指揮者を務めている。
佐倉フィルハーモニー管弦楽団においては、2010年より指導。2011年6月の第54回定期演奏会に続き、
今回の定期演奏会で2回目の指揮を執る。
これまでに、指揮を秋山和慶・河地良智・磯部省吾、チェロを三木敬之・林峰男の各氏に師事。



sakura
philharmonic
orchestra

主催：佐倉市民音楽ホール・佐倉フィルハーモニー管弦楽団
http://www.geocities.jp/sakura_ph_or/

後援：佐倉フィルハーモニー管弦楽団友の会

コープランド／市民のためのファンファーレ

曲目解説／Tuba 氏家

アーロン・コープランド（1900～1990）は、20世紀のアメリカを代表する作曲家のひとりです。この曲は1942年、当時シンシナティ交響楽団の指揮者を務めていたユージン・ゲーセンスの依頼の下、18人の作曲家によって作られたファンファーレのうちのひとつで、その中では今日も演奏される唯一の曲です。オーケストラにおける標準的な金管楽器の編成に、打楽器を3パート加えています。打楽器に始まり、トランペット群～ホルン群～トロンボーン群と展開していき、最後は全員で盛り上がり曲を閉じます。1984年に開催されたロサンゼルスオリンピックの開会式でも演奏されました。TBS系で半年に一回放送される「オールスター感謝祭」中の「赤坂五丁目ミニマラソン」で、ファイナナなどの速い選手がスタートする時のBGMが、この曲をアレンジしたものです。

オッフェンバック／喜歌劇「天国と地獄」序曲

曲目解説／1st.Vn. 清水

オッフェンバックは、本名をヤーコブ・エーベルストと言い、ドイツのオッフェンバッハ・アム・マインで生まれたことから、このペンネームがつけられました。パリ音楽院でチェロを学び、チェロ奏者となった彼は、その後作曲を勉強し、1850年にコメディ・フランセーズの作曲家となり、その後1855年に彼の劇場ブフ・パリジャンを作りましたが、経営難に陥ったこの劇場の窮地を救ったのがオペラ「地獄のオルフェ」というオペレッタの大ヒットでした。オッフェンバックは軽妙でユーモアの富んだオペレッタの基礎を築いた作曲家と言えるでしょう。「地獄のオルフェ」はギリシャ神話「オルフェウスとエウリディケ」を下敷きにした物語で、浮気者の夫が妻を地獄に落ちるよう願い、二人とも地獄に行き、そこで再び出会い、現生に戻るといふドタバタ劇で、当時の為政者の風刺もする、軽快な喜劇として作られた作品です。当時のオペレッタには序曲がなかったのですが、後に劇中のいくつかの旋律を取り入れて編曲されたのがこの序曲「天国と地獄」です。賑やかに始まり、曲想が落ち着いたところでクラリネットのソロ、オーボエが加わり、その後ヴァイオリンのソロの美しい旋律が流れ、躍動的なギャロップ（馬の駆け足）と続きます。このギャロップの部分は第四幕の踊りからとられたもので、運動会、フレンチカンカン、そしてカステラのCMソングとして馴染みが深く、聴いたことのない方は少ないのではないのでしょうか。

ハイドン／交響曲第104番ニ長調「ロンドン」

曲目解説／1st.Vn. 島津

これは、「交響曲の父」と呼ばれたハイドンの106曲もつくられた交響曲の最後の作品です。自筆譜の表紙には「私がイギリスで作曲した12番目の交響曲」と書き記されています。19世紀以降、イギリスで作曲されたのにちなんで「ロンドン」という愛称で呼ばれるようになりました。初演は、1795年5月4日、ロンドンのヘイマーケットのキングズ劇場ニュールームだといわれています。

ハイドンは、自身の手帳に「全員が大喜びで私も嬉しかった。この一夜で4000グルデンの収益があった。これはイギリスにおいてのみ可能なことである。」と記しています。当時から、観衆に熱狂的に受け入れられました。現在も、ハイドンの最高傑作のひとつとなっています。

- 第1楽章 アダージョ・アレグロ 序奏つきのソナタ形式。
- 第2楽章 アンダンテ 単一主題による変奏曲風の三部形式。
- 第3楽章 アレグロ 軽快なメヌエットとトリオの複合三部形式。
- 第4楽章 スピリトソ クロアチアの民謡風の主題で始まる快速なソナタ形式。

ドヴォルザーク／交響曲第8番ト長調「イギリス」

曲目解説／1st.Vn. 庄司

第1楽章 アレグロ・コン・プリオ ト長調

チェロと木管による物憂い旋律から始まり 間もなく小鳥の囀りのようなフルートが明るさと活気を一気に連れて来る。

第2楽章 アダージョ ハ短調

哀愁を帯びた弦楽器の旋律に始まり 中間部のヴァイオリンソロを経て全体が盛り上がった後に消え入るように終わる。

第3楽章 アレグレット・グラツィオーソ ト短調

冒頭から流れる甘いメロディとそれに続くワルツ風のトリオは数多ある交響曲の中でも魅力的な楽章である。

第4楽章 アレグロ・マ・ノン・トロppo ト長調

トランペットの力強く鮮烈な響きで始まり チェロが冒頭よりは明るい気分で歌い始める。田園的な主部が澁刺と続き、ジプシー的な要素を内包しつつ変奏され熱狂裡に曲を閉じる。

この曲が通称「イギリス」と呼ばれるのは、ベルリンのジムロック社との出版契約トラブルにより、ロンドンのノヴェロ社から楽譜が出されることになった経緯がある為であり、作品の内容とは全く無関係である。曲のスケッチは故国ブラハ南西約50キロにあるヴィソカー村のドヴォルザークの別荘で着手された。その土地の美しい自然とそこでの幸福な気分が反映されたボヘミア的色彩の濃厚な生き活きとした情趣溢れる曲である。この偶然ついた「イギリス」という名称よりも、むしろドヴォルザークのイギリスでの成功に着目してみたい。ドヴォルザークの曲はその頃のドイツ語文化圏に於いて認められ、ブラームスなどの知遇を得てイギリス進出となった。1884年に初めてイギリスを訪れ、兼ねてより好評だった作品は本人の指揮により聴衆の心をすっかり捉え、イギリスにおいてはブラームスと比肩する程の名声を得て「ボヘミアのブラームス」とまで呼ばれた。この8番の交響曲は1890年にブラハ初演の後ロンドンで指揮され、やはり拍手喝采であった。翌年にはハンス・リヒター指揮によるウィーンフィルの演奏で世界に知らしめる結果とまでなった。これらの成功は様々な形で称えられ、1891年にはケンブリッジ大学から名誉博士号が贈られるに至った。さて、とは言えこれだけ定着した名称「イギリス」である。とりとめのない夢想に誘われる。当時最強の国にのし上がっていたイギリスは、バロック音楽の巨匠パーセル以来、世界的な音楽家を生み出せず、「音楽文化の欠落」を補うためにその富を以て世界中の音楽家を歓迎していた。そこに現れた名誉ある作曲家ドヴォルザークの曲をたまたまロンドンで出版することになった出版社があるいは自国の音楽界を慮って「イギリス」と呼ばせたかったのではないか。ノヴェロ社の愛国心の発露だったのでは。とかなんとか。



Sakura Philharmonic Orchestra

佐倉フィルハーモニー管弦楽団メンバー

Concert Master: 青木 晶央

1st Violin

鳥津 智恵
 ♪ 清水 俊子
 庄司 睦美
 手塚 奈津美
 山川 奈津子
 ♪ 川崎 牧子
 ♪ 久間 好高
 ♪ 久間 知依子
 ♪ 高橋 正英
 ♪ 平野 聰
 ♪ 松岡 裕樹
 ♪ 武藤 貴子

2nd Violin

安部 文人
 安部 葉子
 天本 幸江
 岩淵 善彦
 佐藤 邦子
 ♪ 二宮 伸雄
 畑 保子
 ♪ 遠藤 利幸
 ♪ 須永 恒雄
 ♪ 早川 貴子

Viola

岡村 隆
 ♪ 河辺 修次
 ♪ 上原 剛介
 ♪ 高橋 恭子
 ♪ 高橋 奨
 ♪ 竹中 邦夫
 ♪ 平山 顕
 ♪ 舟本 典彦

Cello

菅野 修平
 後藤 庸一
 ♪ 清水 裕幸
 豊田 美基
 福島 かおる
 松浦 晴彦
 ♪ 上田 哲也
 ♪ 藤塚 紗也香
 ♪ 山内 美佐子

ContraBass

西中 久美子
 ♪ 三宅 和也
 ♪ 赤岡 秀紀
 ♪ 石原 勇太郎
 ♪ 西中 啓二
 ♪ 宮野 良平

Flute

♪ 阿部 恵美
 土方 理絵
 三村 さゆり
 柳田 晴生
 山田 綾乃

Oboe

♪ 辻野 豊博
 松本 賢一郎

Clarinet

石鍋 豊和
 梨木 美智
 ♪ 原口 豊隆
 福士 未樹

Fagotto

♪ 太平 麻海子
 永田 和也

Horn

小林 昌樹
 ♪ 阪本 薫子
 柴田 かおる
 森川 博邦

Trumpet

♪ 大木 基之
 ♪ 天海 涼香
 ♪ 木村 沙織

Trombone

阿部 博
 柴田 孝一
 ♪ 村上 茂夫

Tuba

♪ 氏家 豊

Percussion

♪ 新井田 久美子
 若菜 真紀子
 ♪ 近藤 博志

Harpion

♪ 大木 理恵

♪: パートリーダー
 ♪: エキストラ

団員募集

- 【募集楽器】 弦楽器：Vn, Va, Cb
 管楽器：Ob, Fg, Tp.
 【練習日】 毎週日曜日 18:00～21:00
 【練習会場】 佐倉市民音楽ホール練習室 他
 【問合わせ】 http://www.geocities.jp/sakura_ph_or/

第57回 定期演奏会 「子どもたちのために贈る演奏会」

開催日：2012年12月9日(日) 14時開演
 場所：佐倉市民音楽ホール
 指揮：新井 義輝
 曲目：プロコフィエフ/「ピーターと狼」ナレーション付き
 シューベルト/交響曲第7番短調「未完成」
 アンダーソン/そりすべり、ワルツィング・キャット 他